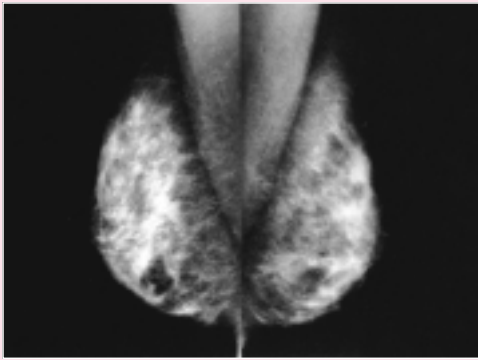


# 掛川

市の乳がん事情



適正に撮影された乳房 (MLO)

掛川市での乳がん検診は、ずっと視触診の時代が続いてきました。そうしてこの4月から乳がん検診が変わりました。

まず、対象者はそれまでの30歳以上の女性から自覚症状のない40歳以上の女性になりました。施設により異なりますが、視触診に加えマンモグラフィ撮影または超音波断層検査を追加する検診がスタートしました。掛川市立総合病院ではマンモグラフィと視触診の併用での検診を5月から11月までの毎週月曜日と木曜日の午後に予約制で行っています。

## 乳房レントゲン撮影法について

乳がん検診では乳腺全体を最もよくあらわし、乳腺組織の分離がよくなるように乳房を装置ではさみ、圧迫してレントゲン撮影します。内外斜位方向撮影(MLOと略す)が標準撮影法とされています。

圧迫は「耐えられる最大限の圧迫」とされており、人によってはかなりの痛みを伴うようですがここがよい撮影のためには大切なことです。



乳房撮影の実際 (MLO)

### マンモグラフィ検診精度管理

マンモグラフィ検診が的確に行わ

## マンモグラフィで分かること

レントゲン撮影でわかることは

- (1) 腫瘍
- (2) 石灰化
- (3) その他  
の所見

の3つです。

レントゲンフィルムから前記の所見を読み取って、判定をします。

### マンモグラフィ結果判定

カテゴリ1から5の5段階であらわす。カテゴリ3以上が要精査になります。

良い

- カテゴリ1 異常なし
- カテゴリ2 明らかに良性と診断できる所見がある
- カテゴリ3 ほぼ良性と考えられる病変がある  
(良性の可能性が高いしかし悪性も否定できない)  
追加の検査が必要である
- カテゴリ4 悪性の疑い・細胞診や生検を含めた検査が必要
- カテゴリ5 悪性・ほぼ乳癌と考えられる病変がある

悪い

### 乳房の自己検診の重要性

乳がん検診があるといっても、乳房の自己検診は大切なことです。月に1回で結構ですので、自分の乳房とゆっくりつきあってみてください。ずっと昔から言われている事ですが、入浴の時自分の乳房を素手で丁寧にゆっくり洗ってみてください。異変があれば何かが伝わってくるはず

です。

#### 参考文献

マンモグラフィガイドライン  
第2版 医学書院